

令和 7 年度

長野市立中部公民館
運 営 審 議 会

令和 7 年10月31日(金)

長野市立中部公民館

令和7年度 中部公民館運営審議会 次第

令和7年10月31日

午前10:30～12:00

中部公民館2階ITルーム

次第

- 1 開会
- 2 令和7年度 運営審議会委員委嘱
- 3 公民館長挨拶
- 4 公民館職員紹介
- 5 運営審議委員紹介(自己紹介)
- 6 運営審議会会長の選任

- 7 議事
 - (1)令和6年度事業報告
 - (2)令和7年度運営基本計画
 - (3)令和7年度事業計画について
 - (4)その他

- 8 閉会

[中部公民館 職員]

館長 長田 文孝
 係長 原山 幸子
 職員 押田 千恵
 職員 村井 由美

[中部公民館運営審議会委員]

順不同 ◎：会長

委員氏名	所属団体名	所属団体の役職
柄澤 洋一	第三地区住民自治協議会	会 長
二本松 弘	第四地区住民自治協議会	幹 事
小林 忍	第五地区住民自治協議会	会 長
西 明子	緑町区福祉推進員	代 表
仁井田恵子	中部公民館成人学校	受講者
小林 徳昭	緑町区	利用者
長谷川ゆかり	中部公民館サークル	利用者
宮林 由里	中部公民館サークル	利用者
小林 仁志	鍋屋田小学校	校 長

令和6年度 中部公民館事業報告

1 成人学校

番号	講座名	講師名	曜日	時間帯			在籍数		
				午前	午後	夜	男	女	計
1	書道入門	新井 青玉	月	○			3	7	10
2	書道	石黒 自耕	木	○			5	4	9
3	和裁	石塚恵美子	木	○			0	13	13
4	和裁	石塚恵美子	金	○			0	11	11
5	書道	小出 聖州	金			○	4	8	12
							在籍者合計		55

2 もみじ大学・企画講座

事業名	内容	講師名	開催数	延参加者数		
				男	女	計
もみじ大学	開講式		1	7	23	30
もみじ大学1	文学講座 「信州に伝わる江戸時代の源氏絵」	堀井正子				
もみじ大学2	地域の学び 「八幡川・鐘鋳堰を歩く」	田辺智隆	2	8	19	27
もみじ大学3	春のコンサート 箏と尺八とピアノの演奏	清水範子 鈴木昌幸	1	8	23	31
もみじ大学4	歴史講座 「相撲の神様と後町小学校」	宮澤和穂	1	6	15	21
もみじ大学5	音楽講座 「歌と楽器でリフレッシュ」	河原富美子 佐藤いくみ	1	0	13	13
もみじ大学6	フレイル予防 「カラーセラピー」	西川知香子	1	5	12	17
もみじ大学7	歴史講座 「善光寺信仰part3」	宮下健司	1	13	15	28
もみじ大学8	健康講座 薬の正しい使い方	米山寛	1	3	8	11
もみじ大学9	健康講座 「楽しい健康体操」	脇坂れい子	1	3	12	15
もみじ大学10	心穏やかに生きる 「縁について考える」	西光寺 竹澤泰宏	1	10	20	30
歌の散歩道	さわやか歌の散歩道	上村まり子 服部秀子	2	11	63	74
親子講座	松代焼体験	松代陶苑 小澤経弘	1	10	12	22
中国の家庭料理	中国の家庭料理	耿麗波	1	2	10	12

干支人形 作り講座	干支の巳の人形を制作	倉澤 幸江 新津 澄江	2	0	8	8
地域の学 び	浅川ダム見学	長野県浅川土地改良 事務所 職員	2	7	5	12
フラ ワー	お正月用のフラワーアレンジメント制作	橋本博重	1	0	13	13
クラフトバンド	クラフトバンドで小物作り	井上 優	1	2	16	18
合計			21	95	287	382



3 成人式

※令和4年度から城山地区が抜け、9地区開催になった。

事業名	事業内容	開催数	延参加者数		
			男	女	計
7公民館9地区合同成人式	R7.1.12芸術館で開催	1	22	26	48



4 館報発行

公民館活動の紹介・地域の活動等の記事を掲載。

館報「中部」154号	令和6年10月15日発行
館報「中部」155号	令和7年3月14日発行

5 作品展

令和6年度作品展	令和7年2月28日(金)、3月1日(土)
----------	----------------------



6 公民館利用状況の推移

		H29	H30	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
本館	利用者数	15,133	14,648	16,423	8,402	8,322	10,719	9,998	9,842
	利用率	19.20%	19.00%	20.10%	13.20%	13.80%	17.20%	16.20%	15.90%
後 町 ホール	利用者数	—	13,584	9,644	5,541	6,018	6,150	6,368	5,680
	利用率	—	76.40%	69.60%	57.60%	63.00%	72.50%	75.40%	67.10%
第四地 区分館	利用者数	1,333	—	-	-	-	-		
	利用率	3.40%	—	-	-	-	-		
第五地 区分館	利用者数	768	7,839	7,772	2,419	2,339	4,136	4,210	3,883
	利用率	3.90%	12.90%	14.20%	7.60%	6.70%	15.20%	15.60%	31.90%
計	利用者数	17,234	36,071	33,839	16,362	16,362	21,005	20,576	19,406
	利用率	8.80%	36.10%	34.60%	26.10%	27.80%	35.70%	36.70%	

7 環境整備及び危機管理

- ・ NEMS(長野市環境マネジメントシステム)により、環境の保全及び環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を推進する
- ・ 施設等の整備
 - ・ 第5地区分館の整備
- ・ 本館・後町ホール・第五地区分館の清掃業務委託
- ・ 防災訓練 年2回
- ・ 本館は職員が常駐しているが、後町ホールと第五分館は無人である。冬季の暖房については、後町ホールはなく、第5分館は、AC・電気ストーブで対応している。
- ・ 後町ホールも6年目になり、施設や物品に破損個所が出始めている。

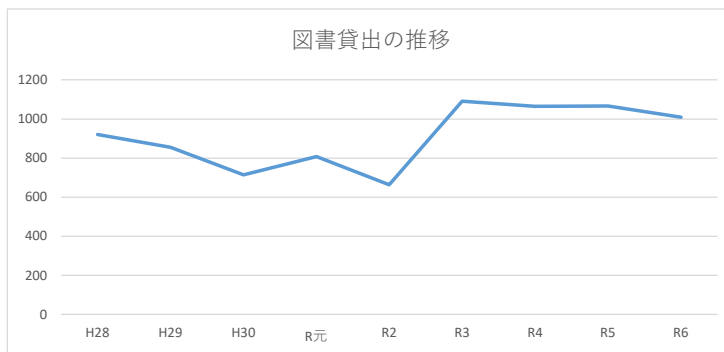


8 図書貸出事業

読書推進事業	新刊紹介、お勧めの本の紹介
子ども読書デー関連事業	長野市子ども読書デー特設コーナー
クリスマス関連読書推進事業	クリスマス関連読書特設コーナー

(1) 図書貸出事業

H28	920
H29	855
H30	714
R元	807
R2	663
R3	1091
R4	1065
R5	1066
R6	1009



(2) リクエスト本の受付

9 地域公民館の支援

- (1) 長野市地域公民館建設費補助金の受付
- (2) 中部公民館備品の貸出事業

10 中部公民館運営審議委員会

- ・年1回開催

後町ホール(中部公民館分室)、第五地区分館



第五地区分館

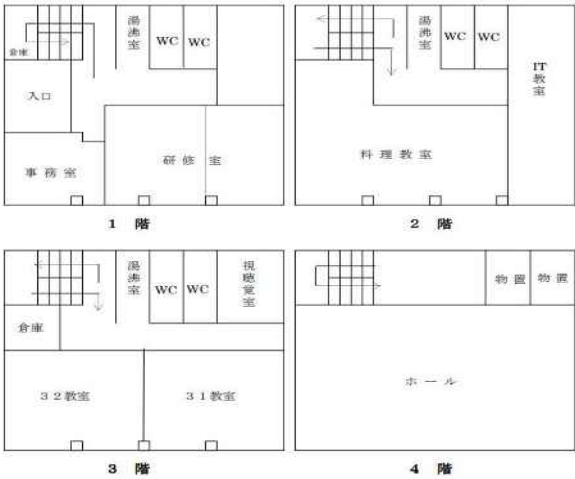
後町ホール



各館 平面図

中部公民館本館
長野市大字鶴賀緑町1596-13

中部公民館 本館 平面図

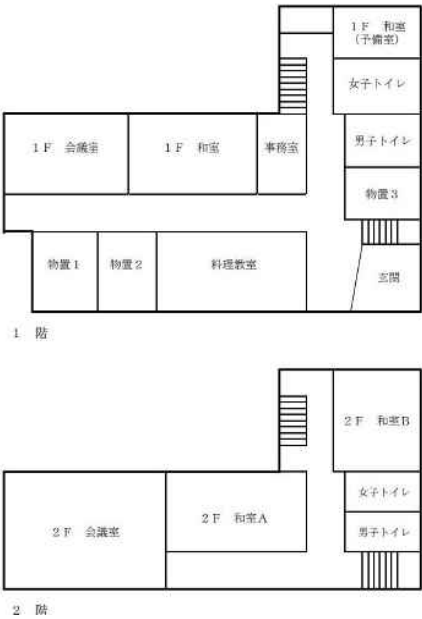


後町ホール
長野市大字南長野西後町614-1



第5地区分館
長野市大字南長野北石堂町1180-12

中部公民館 第五地区分館 見取図



令和7年度 中部公民館運営基本計画

1 はじめに

長野市の人口は、平成22年の388,526人をピークに減少に転じ、令和6年10月の人口は363,639人になりました。その一方で、世帯数は増えている状況になっています。人口が減り世帯数が増えるということは、一人住まいの家庭が多くなったということになります。その増えたのは老年人口にあたる65歳以上で、一人暮らしの65歳以上の方が増えていることになります。この第3、第4、第5地区は、老年人口の割合は30%前後で、他の地域から見ると、数字だけ見るといいような気がします。でも、数字だけでは分からないことが出てきています。

例えば、隣りの家との関わり、地区・地域との関わりが希薄になっている。もっと言うなら希薄な関係を望んでいるようにも見えます。大きなマンションが建ち、人が増えても、「回覧板はいらない」「広報は回さなくて結構」・・・などのことから、地域との関わりを持とうと考えている人は、どれだけいるのでしょうか？

昔から住んでいる人、新たに住みだした人、新たにここで暮らそうとしていている人、そういった人たちが壁がなく交流することも公民館の「学ぶこと」の中で行う一つだと思います。

本公民館は、様々な講座を用意し、学ぶための場所、時間づくりや、学ぶ意欲を増す講座内容を把握しながら事業を進めていくことを目指しています。さらに、管内各学校・3地区住民自治協議会との連絡を取りながら、地域の学習の拠点として、社会教育の一層の充実に努めていきます。そこで、互い触れ合ったことで、子どもも大人も、この地区の関係人口として、将来他の場所に住もうとも、祭りに参加したり、災害時にボランティアとして参加したりしていく関係が出来るようになればいいなあと思います。

2 館運営のテーマ

「出会い・ふれあい・学びあい」

3 活動の重点目標

- (1) 利用者のニーズに応じた学級・講座の開設
- (2) 家庭・地域の教育力の向上を目指した学級・講座の開設（地域＝長野市と考える）
- (3) 自主的に活動するグループやサークルの活動を支援し、教育や文化活動の拠点としての役割の充実を図る
- (4) 公民館報やホームページ等による公民館活動等の広報
- (5) 誰もが利用しやすい公民館となるよう環境の整備を図る

令和7年度 中部公民館事業計画

- 1 成人学校の開設
- 2 「もみじ大学」の開設
- 3 企画講座の開設
- 4 グループ・サークル活動の支援
- 5 前半を振り返って
- 6 作品展
- 7 館報「中部」発行事業
- 8 「第三・第四・第五・芹田・古牧・三輪・浅川・若槻・小田切地区 二十歳の
門出を祝う成人式」の開催
- 9 図書の出貸事業
- 10 地域公民館の支援
- 11 環境整備及び危機管理
- 12 中部公民館運営審議会
- 13 その他
- 14 参考資料

1 成人学校の開設

番号	講座名	講師名	曜日/時間	受講者年齢				新規	継続
				～40代	50代	60代	70～代		
1	書道	青木 秀暉	木/午前	0	0	2	8	2	10
2	和裁	石塚恵美子	木/午前	3	1	3	5	1	12
3	和裁	石塚恵美子	金/午前	1	3	4	4	0	12
4	書道	小出 聖州	金/夜	1	3	3	6	3	12
計				5	7	12	23	6	46

全4講座

年間36回

3学期制

受講料8,000円/1学期

2 もみじ大学の開設

生涯学習の一環として、より豊かな生活の創造を支援する

テーマ ～生き生きと楽しく学び、心豊かに～

※全10回 水曜日開催（各回申込み必要）

※各回ごと募集人数、開催時間は異なる。

事業名	内容	講師名	年代別参加者				延参加者数		
			～50代	60代	70代	80～代	男	女	計
もみじ大学	開講式								
もみじ大学1	文学講座 清少納言の魅力	堀井正子	2	9	18	7	7	32	39
もみじ大学2	地域の学び 八幡川・鐘鋳堰を歩く	田辺智隆	1	4	7	2	4	10	14
もみじ大学3	歴史講座 戸隠に伝わる笏	宮澤和穂	0	6	9	4	5	14	19
もみじ大学4	大人の社会見学 ながノビを見学しよう	施設職員	1	7	6	1	2	13	15
もみじ大学5	音楽講座 秋のコンサート	清水範子 大友美由奈	1	6	13	9	7	26	33
もみじ大学6	音楽講座 歌と楽器でリフレッシュ	河原富美子 佐藤いくみ	1	2	3	2	2	6	8
もみじ大学7	健康講座 転倒防止！誰でもできる筋トレ	脇坂れい子	0	2	5	3	4	7	11
もみじ大学8	歴史講座 戸隠と戸隠信仰	宮下健司	10/29 開催						
もみじ大学追加	地域の学び② 八幡川・鐘鋳堰を歩く	田辺智隆	11/5 開催						
もみじ大学9	健康講座 睡眠と健康の知恵袋	明治安田生命保険 相互会社 職員	11/12 開催						
もみじ大学10	心穏やかに生きる 摩訶不思議!長野の神社の 靈感の世界	斎藤安彦	11/26 開催						

3 企画講座の開設

事業名	内容	回数	年齢				延参加者数		
			～50代	60代	70代	80代～	男	女	計
さわやか歌 の散歩道	受講者全員で合唱を楽しむ	2		5	10	20	5	30	35
クラフトバ ンド講座	クラフトバンドでバックを作る	3		6	4		1	9	10
夏休み小学 生体験講座	手描き友禅体験	1	14				2	12	14
大人の社 会見学	みその魅力再発見！みそ工場見学	1	2	3	7	3	3	12	15
手描き友 禅染	手描き友禅染体験		11/18（火）						
干支人形作 り	干支人形作り		11/20（木） 11/27（木）						
クリス マスメ ニュー	クリスマスのごちそう食卓		12/10（水）						

フラワーアレンジメント講座	お正月用のフラワーアレンジメント制作	12/24（水）
書初め	小学生書初め教室	1/6（火）
大人の社会見学	みその魅力再発見！みそ工場見学2	1/19（月）

4 グループ・サークル活動の支援

令和7年4月30日現在の登録団体数 92団体

内訳

教育	1
人文、社会科学	3
自然科学	2
芸術・文化	25
体育・スポーツ・保健	59
家庭生活・趣味	0
市民生活・交流	2
合計	92

5 前半を振り返って

(1) 利用者のニーズに応じた学級・講座の開設

→令和7年の成人学校の実施計画・実施状況の受講者をみると、圧倒的に継続が多い。そのことから、中部公民館の成人学校の講座は、受講者の「あの先生の下で、勉強したい。」というニーズに合っていると考えられる。その一方で、その講座に集まっている人と学び続けたいという気持ちも強くある。

→講師の先生の高齢化 受講生の高齢化により、講座の一つが、サークルになった。高齢化による世代交代も考えていかないといけない。

(2) 家庭・地域の教育力の向上を目指した学級・講座の開設

→受講者の年齢を見ると、もみじ大学も企画講座も、中心は70歳代ということが分かる。
定年の延長など、何歳になっても働き手の中心を担っていかないといけない時代になってきている。本当に生活に余裕があり、「学びたい」気持ちを持ちながら、学ぶことができるのは70代ということになると思う。家庭を中心としながら、学んだことを使い生活を豊かにしていると思われる。

(3) 自主的に活動するグループやサークルの活動を支援し、教育や文化活動の拠点としての役割の充実を図る

→団体登録をしている団体数は、92団体である。ひと団体5名以上で登録になる。本館・第5分館は、基本的に窓口申込みになる。後町ホールについては、施設予約システムから申込み、利用希望の重なる時間帯は抽選により利用団体が決まる。公民館本館も、施設予約システムの導入の方向へ。来年の4月利用分から実施。

→利用者と話していると「中部公民館だから、みんなで集まれる」「ぐるりん号を使って公民館に来ることができる」「お昼を、サークルの人と一緒に、外に食べに行くことができる」という立地や交通の利便性について多く聞くことができた。理由は様々であるが、人が集まる場所になっていることは分かる。

(4) 公民館報やホームページ等による公民館活動等の広報

→企画講座やもみじ大学の感想に「講座のこと、どこでお知りになりましたか？」の問いに対して、チラシ、友人からというアナログ的な方法の他に、HPを見てという回答も増えてきている。

→玄関の書架は、分かりやすい掲示を意識している。研修やサークル活動のあと、来館者のチラシを手取る姿が多々見られる。

→各地区にお願いして、回覧板に講座等のチラシを入れていただいている。ただ、講座内容の問い合わせより、「中部公民館ってどこですか？」という問い合わせが多い。第3地区の住自協の便りに、中部公民館を取り上げていただきありがたい。これまでと違う、いろいろな方法を試したい。

(5) 誰もが利用しやすい公民館となるよう環境の整備を図る

・掲示物等の工夫。

・講座等、開催季節、開催教室の工夫→夏高温になるため、ACのある部屋に会場の変更をアドバイスしたり、春、秋に講座を集めたりしている。

・階段途中に丸椅子の設置

・電話、窓口での丁寧な対応

・後町ホール・第5分館の見回り

・第5分館の草刈り、枝払い

・庭もなく緑が少ないため、プランター・鉢植えの植物、切り花を活用。

・数字には表れないが、利用者の皆さんと話題に上ることがある。

6 作品展

成人学校、サークル等の一年間の学習成果の発表。本年度は、2/28(金)午後、3/1(土)を予定

7 館報「中部」発行事業

公民館活動等の記事を掲載した公民館報を年2回発行する

第三・第四・第五地区全戸に配布

8 「第三・第四・第五・芹田・古牧・三輪・浅川・若槻・小田切地区二十歳の門出を祝う成人式」の開催

(1)開催期日:令和8年1月11日(日)

(2)開催場所:長野市芸術館

(3)主催:成人式実行委員会(公民館・交流センターと住民自治協議会で組織するもの)

9 図書の貸出事業

(1)南部図書館分室として図書の貸出

(2)リクエスト本の受付

(3)館内や館報で新刊図書の紹介を行い、利用拡大を図る

10 地域公民館の支援

(1)長野市地域公民館建設費補助金の受付

(2)中部公民館備品の貸出事業

11 環境整備及び危機管理

・NEMS(長野市環境マネージメントシステム)により、環境の保全及び環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を推進する。

・施設等の整備

・管内備品の整備

・防災訓練 年2回

12 中部公民館運営審議会

年1回開催

13 その他

コロナウイルスへの対応:マスクの着用、手指消毒は呼び掛けるが、任意で。

14 参考資料

令和7年度 中部公民館予算

(単位:千円)

項目	金額	内訳
報酬	6,020	審議委員報酬・パートタイム会計年度職員報酬
職員手当等	1,946	パートタイム会計年度職員期末・勤勉手当
共済費	1,364	パートタイム会計年度職員共済組合負担金・社会保険料・雇用保険
報償費	288	講座講師謝礼金・後町ホール鍵の受渡し謝金
旅費	151	パートタイム会計年度職員通勤手当
需用費	2,621	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費 等
役務費	137	電話料・ピアノ調律料
委託料	1,227	清掃委託料・施設等保守点検委託料
使用料及び賃借料	340	下水道使用料・複写機使用料・テレビ受信料・モップレンタル料
合計	14,094	